



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 乳腺外科 和田朝香

【研究責任者】

同上

乳癌の組織生検による播種*が疑われる方を対象とした画像と術後病理に関する研究

1.研究の対象

2010年1月から2017年3月まで当院で乳癌手術を受けられた方で、手術前の組織検査を受けた後に乳癌の播種*が疑われる画像所見であった方。

2.研究の目的・方法

乳癌の診断には組織生検を行うことが標準的となっていますが、中には生検によって乳癌が播種した可能性を考える症例があります。その場合には手術の際に広めに切除をすることもあります。本研究の目的は組織生検によって播種が疑われる症例が実際に播種していたかを調べ、播種した乳癌の組織の特徴や画像所見に特徴があるかを明らかにする事です。

この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、性別、生年月日、病歴、手術日、術式、病理所見(組織型・病理学的浸潤径・核グレード・ER・PgR・HER2・リンパ節転移の有無・脈管侵襲の有無)、生検の手技、穿刺回数、生検施行日、超音波エコー所見、MRI 所見、術前薬物治療の有無、受診時乳房の特殊な状況(授乳期・妊娠期)、局所再発の有無・部位、遠隔転移の有無・部位、転帰、等

※播種:組織生検によって乳癌細胞が周囲組織に散布されること。